

取組名称

北海道十勝サイクルウェルネスツアー 造成事業

取組概要

北海道十勝の大自然を自転車で周遊、地球を感じるアクティビティ、地元食材で心も体も健康に！

北海道唯一のナショナルサイクルルートである「トカプチ400」のルートを活用し、二つの国立公園（大雪山と日高山脈）をめぐるアクティビティ、世界的に希少なモール温泉である十勝川温泉、北海道で最も空に近い湖である然別湖での自然体験、ばんえい競馬のばん馬の乗馬体験、先住民族であるアイヌ文化体験、フードバレーとかちが生み出す大地の恵みの食体験、など十勝エリアが世界に誇る自然・文化の体験コンテンツを組み合わせた着地型サイクリングツアーを造成し販売する。

現状課題

課題① 交通アクセスの面に課題

・観光資源が点在しているが、それらをつなぐ交通機関が不足している
⇒専門家のサイクルルート選定により点在する観光地を線でつなぐことができる
（ハンデを逆手に取った発想でサイクルツーリズムを推進できる）

課題② サイクリスト・インバウンドの現地の受け入れ体制不足

・地域ごとにガイドや送迎の対応を行っているが広域エリアでの対応ができない
・コロナ禍により、継続的にやってきたサイクルツアー事業が停滞している（ブースターが必要）
⇒モニタツアーを行いガイドのスキル向上や各所の対応や連携を強化する

課題③ エリア特有の魅力の認知度不足

・北海道十勝エリアの魅力をインバウンド向けに発信できていない
⇒モニターツアーを実施し、その模様をPV動画や写真におさめ、効果的な海外プロモーションにつなげていく

地域性

北海道十勝について

北海道十勝エリアの大自然を自転車で周遊、温泉やサウナ、ヘルシーフードで心と体を健康にするサイクリングツアー、各観光地が点在しているが交通機関が乏しいエリアを、自転車で周遊することで魅力ある観光地をつなぐ着地型のツアー商品を造成し販売する十勝エリアの手つかずの大自然を舞台に健康的に周遊することでエリア内の観光地に相乗効果が期待でき、エリア全体の経済に持続的にプラスの貢献ができると考える

＜活用する地域特有の観光資源と実施するアクティビティ案＞

- ・国内で6か所、北海道で唯一のナショナルサイクルルート「トカプチ400」のルートを活用した新ルートの選定
- ・北海道で最も標高が高く空に最も近い湖である然別湖での星空ツアー
- ・国立公園に指定される日高山脈でのトレッキング
- ・北海道で二番目の流域面積を誇る十勝川でのカヌー・SUP体験
- ・馬文化がある十勝ばん馬（日本純系種）の乗馬体験
- ・世界的にも希少なモール温泉である十勝川温泉（北海道遺産）での湯治体験

その他
・全国的にも晴天率が高い十勝エリア
・先住民族であるアイヌ民族を学ぶ文化体験

スポーツテーマ

北海道十勝エリアの課題

観光地が点在しているが、それらをつなぐ交通機関が不足している地域
移動そのものをコンテンツにできるサイクリングがその課題の解決につながる

ターゲットの設定とアプローチ・プロモーション

タイでは近年サイクリングがブームとなっているが、国内のルートが未整備
タイや台湾のサイクリストにアプローチできるパートナーがいる

課題解決のために

地域資源の適切な活用

北海道十勝エリアの地域資源活用

国内でも有数の自然を満喫できる観光資源があり、アウトドアアクティビティのメッカといえる
近年人気が高まっているアドベンチャーツーリズムを体感できるコンテンツが揃っている

サイクリストのアクティビティへのニーズを調査

タイでは国内のサイクルルートが未整備で、北海道でのサイクリングへのニーズが期待できる
事前のアンケート調査により、タイのサイクリストのアクティビティのニーズを把握しており、希望にそったツアーメニューやアクティビティコンテンツを造成する

テーマ
サイクリングを中心としたウェルネスアクティビティ

効果的なプロモーション

ターゲットのニーズに応えられる

ターゲット

メインターゲット：タイ都心部在住の自転車愛好家で富裕層以上の個人、夫婦・カップル（DINKS）

サブターゲット 1：台湾都心部在住のサイクリング愛好家で富裕層以上の個人、夫婦・カップル（DINKS）

サブターゲット 2：国内アッパーマス層以上のアクティブシニア層及び若年夫婦・カップル（DINKS）

タイおよび台湾への集客プロモーション

株式会社ジェイエデュケーション

タイ国内と日本国内に現地法人をもち、タイ国内で日本の旅行博を主催する「ジェイエデュケーション」社が、様々な媒体でツアーのインフォメーションを行い、タイ国内のサイクリストへアプローチする。

ジャパンアンド同会社

タイで多くのインフルエンサー、KOLとパイプを持つ「ジャパンアンド」社がアサインしたKOLによる事前事後のSNS投稿により、北海道十勝のサイクルツアーの魅力余すことなく発信する。また、タイの文化を熟知したスタッフが、食事や宿泊の際の国民性や宗教的価値観に配慮したプランを用意する。

東武トップツアーズ株式会社

台湾旅行会社と強いパイプを持ちサイクルツアーで多くの実績があり、複数の旅行会社へ北海道十勝エリアのサイクルツアーの魅力を紹介する。

ターゲット選定の考え方

＜タイ人サイクリストをメインターゲットにした理由＞

海外マーケティング調査報告書2020(スポーツ庁)によると、タイ人が日本で体験したいスポーツアクティビティの第1位はスキー・スノーボード等のスノースポーツ、**第2位がサイクリング**となっているほど、自転車熱が高い国である。
一方で、タイ国内は、都心部では排気ガスの問題、交通渋滞の問題、サイクルレーンの未整備、気温の高さなど、自転車を気軽に楽しめる環境とは言い難く、**自転車に乗りたいが環境が未整備**、という状況のため、観光や食とサイクリングおよびアクティビティをセットにしたサイクルツーリズムへのニーズが高い。
冷涼な気候、点在する雄大な自然、安全に走れる道路環境を持つ＜北海道十勝＞でのサイクルツーリズム企画は、そんな**タイ人サイクリストの需要に応える**ことができ、インバウンド集客にも適していると考ええる。
また、台湾は言うまでもなくサイクリングが盛んな国でありながら、まだまだ北海道エリアへはそれほど来訪が多くないため、潜在的に大きな市場となり得るため選定した。

＜女性サイクリストへのケア⇒マーケットの拡大へ＞

元々サイクルツーリズムを含むアドベンチャーツーリズムのコンテンツには、体力のある男性のニーズが取り入れられがちである。一方で、自転車については、テクノロジーの進歩により**Eバイク**など、**男女の体力差を軽減できるギア**が開発されており、この企画でもそういったアイテムを活用することで、幅広く**女性のアドベンチャーツーリズムへの積極的な参加を促す**ようにしたいと考えている。

設定目標

満足度向上・・・モニターツアー客のプログラム全体への満足度向上を目指す（とくに、女性参加者の満足度向上を目指す）

現地スタッフのスキルアップ・・・サイクルガイド、食事、宿泊、アクティビティなど現地スタッフの連携・スキル向上・意識変化を目指す

現地での消費額増加・・・サイクルツアー参加者によるツアー実施エリアの経済的効果（客単価アップなど）を目指す

＜継続性と自走化＞ 北海道十勝エリアでのサイクルルートの安全性や行程や難易度の妥当性、宿泊施設のサービス内容、ツアーの実施時期、ガイドのスキルアップなど、**ツアー内容のブラッシュアップ**を進めるとともに、＜自然・文化・食＞などの地域資源の魅力度や、そでのアクティビティの必要性を確認し、この企画で得た結果を基に道内の他エリアでのツアー企画造成・プロモーションを検討するとともに、女性がスポーツツーリズムに積極的に参加し、満足してもらうための課題を抽出し、男性のみならず、**女性が参加しやすいサイクルツアー**を企画し、事業の自走化につなげる。

コンディショニングの取組

世界的にも希少な**モール温泉を活用した湯治体験**や、近年「十勝サウナ協和国」として十勝エリアで拡大している**サウナ体験**、などリラクゼーションメニューを用意し、**身体の疲労を緩和させるだけでなく、精神的にもリラックス**してもらうためのメニューを展開。
また、**Eバイクの手配**、食やアクティビティにウェルネス要素を付加するなど、**女性のスポーツツーリズムへの参加を促す**施策を実施するとともに、怪我や疲労、体調不良等でサイクリング続行が難しくなった旅行者へのフォローとして**サポートカーの帯同**や、プランBとして**自転車に乗らずに楽しめるアクティビティ**を用意。

実施日程

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実施計画策定	2024年6月下旬～2024年7月上旬						
現地下見・関係者調整		2024年7月上旬～2024年7月中旬					
内容検討・成果指標設定		2024年7月上旬～2024年7月下旬					
プロモーション・販売			2024年7月中旬～2024年9月下旬				
モニターツアー実施		2024年7月中旬					
一般ツアー催行			2024年8月上旬～2024年10月中旬予定				
調査・報告書作成					2024年10月下旬～2024年12月下旬		

実施体制

